

「わくわくする学校」づくりに向けて

令和8年9月 柳井市立伊陸小学校

保護者・地域の皆様には、ご多用な中「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。皆様からのご回答をいただき、集計・分析を行うことができました。

ご回答の結果について、教職員で共有・検討しました。結果をもとに工夫改善を行い、今後の教育活動に反映させていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

4段階の中間値は2.5ですので、それよりも値が大きければ、回答集団は「4:よくあてはまる、3:おおむねあてはまる」寄りにあり、それよりも値が小さければ、「2:あまりあてはまらない、1:まったくあてはまらない」寄りにあると読みます。

本校の評価アンケートの回答は、全ての項目で 3.1以上 をめざしています。



「体育館できたぞ！わくわく集会」より

学校評価アンケート集計 【全校児童】					7月
評価項目		番号	内 容	0 1 2 3 4	評価
知	聞いて 伝えて わいわい 伊陸	1	友だちや先生の話をしっかり聞いたり、自分の考えを伝えたりしている。	3.29	3.29
		2	進んでいろいろな本を読んでいる。	3.21	3.21
		3	家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	3.3	3.3
徳	考え行動 ぐんぐん 伊陸	4	友だち・家族・地域の人などへ進んであいさつをしている。	3.82	3.82
		5	時と場に応じたよい言葉づかいをこころがけている。	3.38	3.38
		6	自分や友だちの良さを認め、なかよく協力できている。	3.38	3.38
体	心を整え きらきら 伊陸	7	約束やルールを守ってメディアを使用している。 (テレビ・ゲーム・スマホ・タブレットなど)	3.65	3.65
		8	早寝・早起き・朝ごはんの基本的な生活習慣が身についている。	3.29	3.29
		9	安全に気を付け、元気よく遊んだり、運動したりしている。	3.7	3.7
授 業		1	授業の内容はよくわかり、ともだちと学び合うのは楽しい。	3.45	3.45
夢や目標		2	将来の夢や目標をもって生活している。	3.7	3.7
自分の よいところ		3	自分にはよいところがあると思う。	3.56	3.56
地域との学び		4	校外学習など、地域の方との勉強や活動は楽しい。	3.74	3.74
健康づくり		5	自分の健康を考えた生活・行動をしている。 (好ききらいを減らす・歯みがきをする等)	3.38	3.38
信 頼		6	先生は「児童・保護者との約束」を守っていると思う。	3.94	3.94

○ 児童の結果を見ると、「進んであいさつ」「メディアの使用」「安全・運動」が高い評価を示しています。特に「進んであいさつ」の項目が高く、児童も意識して取り組んでいることがうかがえます。最近では、地域の方に「いってらっしゃい。」と声をかけていただくと、「行ってきます。」と答えることも多くなりました。

▲ 全体的に自己評価は高いのですが、「読書」「家庭学習」「基本的な生活習慣」はの中では低めの評価となりました。学校では、読書環境を整え、読書を推奨しています。今後も様々な取組をとおして、児童の読書習慣をつけていきたいと思えます。また、家庭学習については、「何のための家庭学習なのか」を児童が考え、主体的に学習に取り組んでいけるように働きかけていきます。

- ◇ 学校教育評価に関しては、「授業」に関する評価が他よりも低めでした。わかる授業・学び合う授業で、児童が「学ぶことが楽しい」と思えるように、今後も研修・授業改善に努めてまいります。また、「自分にはよいところがあると思う」の評価、自己肯定感〔＝自己を認める気持ち、自己を肯定的に受け入れる気持ち〕は、学びや生活の土台となります。さまざまな場面で子どもたちを励まし、承認していくことを続けていきたいと思っています。

学校評価アンケート集計						【保護者】					7月
1【家庭教育評価】											
評価項目			番号	内 容		0 1 2 3 4					評価
知	聞いて 伝えて わいわい 伊陸	話す・聞く	1	お子様の話をしっかり聞き、コミュニケーションがとれている。		3.56					3.56
		読書習慣	2	お子様に本を読むことの価値やおもしろさを伝えている。		2.8					2.8
		家庭学習	3	家庭での学習環境を整えるとともに、お子様の学習への取組を見守っている。		3.2					3.2
徳	考え行動 ぐんぐん 伊陸	あいさつ	4	お子様のあいさつの様子を気にかけ、よいあいさつを価値づけている。		3.56					3.56
		言葉遣い	5	お子様に、礼儀や相手に対する優しく温かい言葉の大切さについて伝えている。		3.56					3.56
		自己肯定感	6	お子様のよさを価値づけ、がんばったことをほめ、自信をもたせる声かけをしている。		3.36					3.36
体	心を整え きらきら 伊陸	メディアコントロール	7	家庭でのルールを決めるなど、お子様と一緒にメディアコントロールに取り組んでいる。		2.72					2.72
		生活習慣	8	望ましい生活習慣がつくように声をかけるなど、お子様に継続的に働きかけている。		3.32					3.32
		健康・安全	9	健康や安全についての声かけや話をするなどで、お子様の主体的な取組を促している。		3.29					3.29
2【学校教育評価】											
評価項目			番号	内 容		0 1 2 3 4					評価
学習指導			1	学校は、「わかる授業づくり」「学び合う授業づくり」を行っている。		3.6					3.6
キャリア教育			2	学校は、柳井市の「愛・夢・志」を意識し、児童の「主体性」を伸ばす取組や活動を行っている。		3.5					3.5
自己肯定感			3	学校は、児童の「自己肯定感」を高める取組や活動を行っている。		3.4					3.4
地域連携			4	学校は、児童の「ふるさとを愛する心」を高める取組や活動を行っている。		3.6					3.6
健康づくり			5	学校は、児童が健康をセルフプロデュースできるような取組や活動を行っている。		3.36					3.36
綱紀保持			6	学校は、綱紀保持に係る「児童・保護者との約束」（裏面参照）を守り、綱紀保持に対する高い意識をもって業務を遂行している。		3.68					3.68

【家庭教育評価】

- 全体的に良い評価となっていますが、その中でも「話す・聞く」「あいさつ」「言葉遣い」の項目が高くなっています。お子様とコミュニケーションをとられ、その中であいさつや言葉遣いについてもお話していただいていることと思います。ありがとうございます。お子様と話される中で、常に「がんばれ。」と励ますだけではなく、共感しながら聞く、お子様が満足するまで聞くことも大切です。「話を聞いてくれてうれしい。心が落ち着く。次もまた話をしたい。」そういうつながりが深まるといいですね。

- ▲ 読書習慣とメディアコントロールの項目はやや低くなりました。この2つは、関係性が深いと考えられます。メディアを利用すること自体は悪いことではないのですが、常にメディア（テレビやスマホ）を使っていないと落ち着かない、そのことが問題です。テレビを消す→スマホ等を見ない→静かな時間をつくる→本を開いてみる・・・このサイクルを週に1日でも実践されてみてはいかがでしょうか。学校でも、読書の秋に向けた様々な取組をとおして、今後も本の魅力を児童に伝えていきたいと思っています。

【学校教育評価】

- 全体で見ると概ね肯定的な評価をいただきましたが、「自己肯定感」と「健康づくり」の項目はやや低くなっています。

まず、「自己肯定感」については、自分自身に対して「よし！いいぞ！」と思える経験・・・

例えば、

「何かをがんばって（継続して）取り組むことができた。」

「納得できる結果や成果をだすことができた。」

「人の役に立つことができた。喜んでもらえた。」

「人から認めてもらえた。（褒めてもらった。）」

・・・を積み重ねることで高まっていきます。私たち大人が子どもたちに、いつ、どんなことを価値づけて伝えるかが大切になります。そのためにも、今後も教職員でしっかりと情報を共有し、児童理解を深めていきたいと思っています。

次に、「健康づくり」についてです。健康をセルフプロデュースしていくうえで一番大切なのは、「健康でありたいという気持ち」、言い換えれば「自分を大切に思う気持ち」をもつことです。今後も自己を振り返る取組等をとおして、児童の主体性を伸ばしていきたいと思っています。

- ◎ アンケートの自由記述欄にも多くのご意見をいただきました。

お忙しい中、ご記入いただきまして、ありがとうございました。

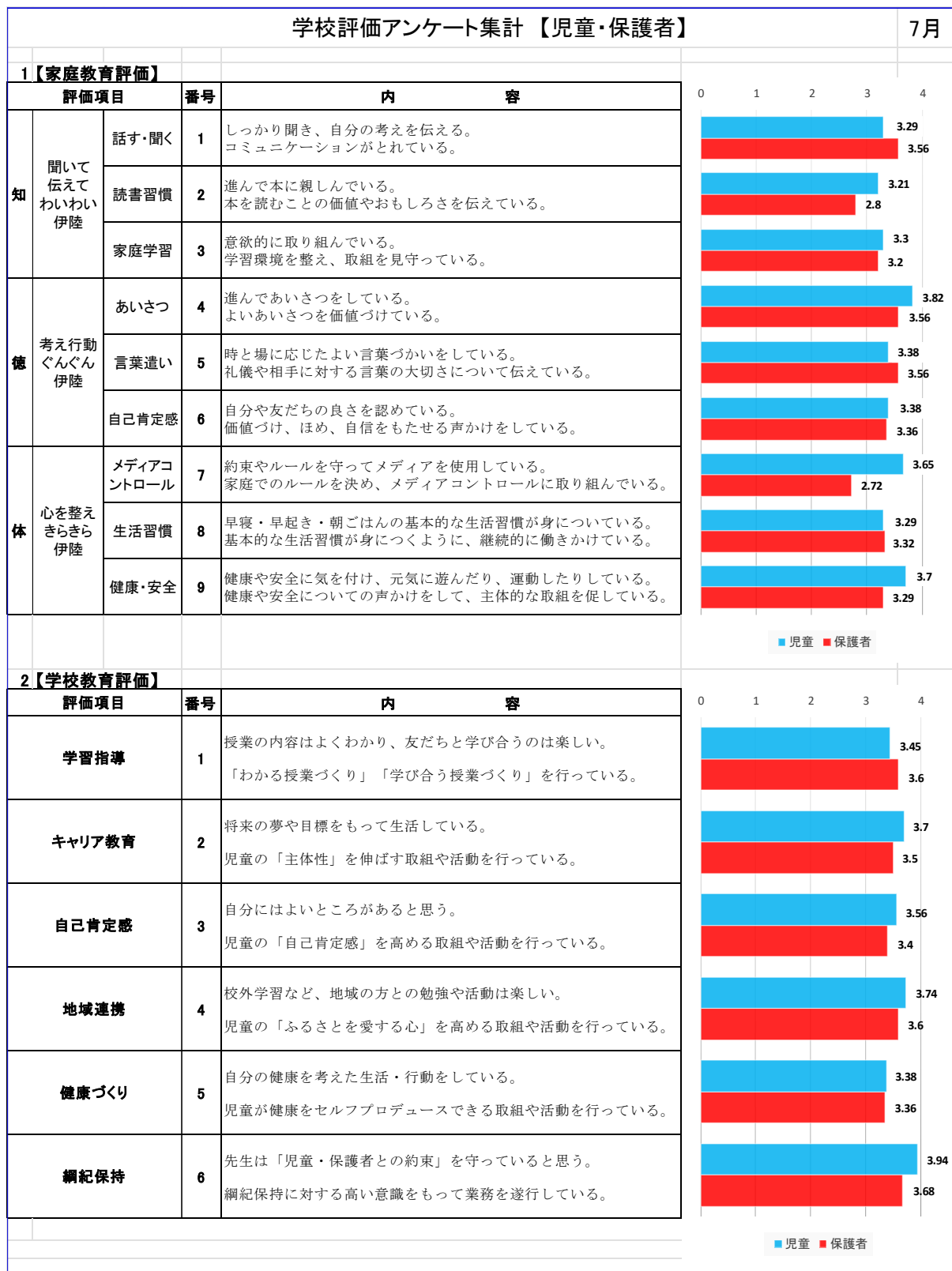
いただいたご意見を真摯に受け止め、可能な限り工夫改善をしていきます。

また、教職員の人権意識を高め、信頼される学校づくりに努めてまいります。

学校評価アンケート集計 【地域の皆様】				7月
1【地域教育評価】				
評価項目	番号	内 容	0 1 2 3 4	評価
知	1	児童の学力向上や読書習慣の定着に向けて、学校のさまざまな教育活動に対し、助言や支援ができています。	3.11	3.11
徳	2	児童が自己肯定感や地域肯定感をもてるように、あいさつや励ましの声かけができています。	3.77	3.77
体	3	児童が安心・安全に学校生活が送れるように、登校時の見守り活動や環境整備ができています。	3.44	3.44
2【学校教育評価】				
評価項目	番号	内 容	0 1 2 3 4	評価
学習指導 ・ 学力向上	1	学校は、「わかる授業」や、教師や友達の話をしっかり聞いたり自分の考えをしっかり述べたりする「学び合う授業づくり」を行っている。	3.63	3.63
キャリア教育 ・ 主体性の醸成	2	学校は、柳井市の「愛・夢・志」を意識し、児童が将来の夢や目標をもち、「主体性」を伸ばしていける取組や活動を行っている。	3.8	3.8
自己肯定感	3	学校は、地域と連携して、児童の「自己肯定感」を高める取組や活動を行っている。	3.77	3.77
地域肯定感	4	学校は、地域連携や地域貢献を意識し、児童の「ふるさとを愛する心」を高める取組や活動を行っている。	3.77	3.77
健康づくり	5	学校は、児童が健康をセルフプロデュースできるような取組や活動を行っている。	3.67	3.67
綱紀保持	6	学校は、綱紀保持に関する研修を計画的に実施するとともに、「児童・保護者との約束」（裏面参照）を遵守し、綱紀保持の意識の向上に努めている。	3.86	3.86

◇ 地域（学校運営協議会委員）の皆様には概ね高い評価をいただいておりますが、評価をしていただく上で、「分からない」の項目につけておられる方も多かったように思います。今年度はユニット型研修の充実を図り、地域の皆様にも校内の研究授業へ参加していただいております。校内研修では、授業内容や児童の様子などについて様々なご意見をいただいているところです。ありがとうございます。今後は、学校をもっと知っていただき、学校に足を運んでいただけるように、学校行事や活動を更に見直していきたいと思っております。

◇ 本校は学校応援団の活動が充実しており、朝の見守りや交通指導などの児童の安心・安全に関する活動をはじめ、読み語りや放課後学習α教室などの学習支援、地域の特産品を知る体験活動、また、休日にもかかわらず定期的に環境整備もしていただいております。こうした活動を通して多くの地域の方とふれ合うことで、児童の自己肯定感や、伊陸を愛する地域肯定感も高まっています。



◇ 家庭教育評価において、児童と保護者の皆様との評価の差が大きい項目がありました。「読書」と「メディアコントロール」の項目です。これら二つは、児童の評価は高いのですが、保護者の皆様の評価がいずれも3以下となっています。読書習慣をつけるには、本を「自然に読みたくなる」環境を作ることが大切だそうです。メディアから距離を置いて、大人も子どもも静かに本を読む「読書タイム」を設けるなど、ご家庭でも働きかけをお願いいたします。



貴重なご意見、温かい励ましをありがとうございました。

保護者・地域の皆様と力を合わせて課題を克服し、伊陸小学校が子どもたち、保護者、地域の皆様にとって、もっと「わくわくする学校」になるように全力で取り組んでいきたいと思ひます。

引き続き、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。